

第13回 June 5 2016

第13回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日　2016年12月3日
編　集　全国水環境マップ実行委員会事務局
発　行　全国水環境マップ実行委員会
発行所　全国水環境マップ実行委員会事務局

問合せ先　全国水環境マップ実行委員会事務局
みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021　東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
みずとみどり研究会気付
TEL/FAX：042-327-3169
E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp
URL：http://www.japan-mizumap.org

発行部数　5,500部

本調査は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

後援　国土交通省　環境省

印刷　エキノックス

身近な水環境の全国一斉調査

笑顔でつなぐゆたかな水辺

第13回 調査結果概要 2016

目　次

Ⅰ　調査の背景　P.1
Ⅱ　調査の実施手法　P.2
Ⅲ　調査結果の概要　P.3
全国一斉調査諸データの推移　P.4
2016　全国水環境マップ　第13回 身近な水環境の全国一斉調査結果　P.5
2004　全国水環境マップ　第１回 身近な水環境の全国一斉調査結果　P.6
Ⅳ　各ブロックでの調査結果　P.7
北海道地方 P. 7　近畿地方 P.12
東北地方 P. 8　中国地方 P.13
北陸地方 P. 9　四国地方 P.14
関東地方 P.10　九州・沖縄地方 P.15
中部地方 P.11
Ⅴ　一斉調査結果の活用事例紹介　P.16
Ⅵ　継続調査参加団体　P.19
Ⅶ　全国水環境マップ実行委員会名簿　P.20
Ⅷ　身近な水環境を調べよう！第13回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い　P.21
第14回 身近な水環境の全国一斉調査　参加申し込み用紙　P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年６月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。
本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は（株）共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会







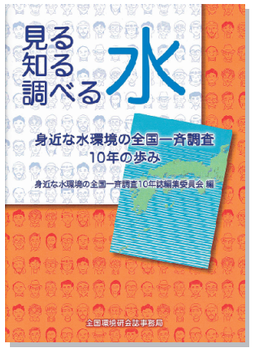
Ⅰ 調査の背景



近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は 1980 年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。

多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと 10 年間のまとめが一冊の本になりました。】



調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になりました。身近な水環境の全国一斉調査 10 年の歩みがわかる「見る　知る　調べる水」（(有) 全国環境研究会誌事務局　発行：2015 年）は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価 1,500 円 (税込) 送料別で販売中です。

「身近な水環境の全国一斉調査」は 2004 年 6 月に開始され、13 年間で延べ 92,800 人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ 69,100 地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

目的と意義　～自分たちで調べて，環境保全につなげよう～

1．身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2．統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3．身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおよそ 1 年後である）。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4．河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5．同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6．身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7．水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8．汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9．調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10．子どもたちが調査に参加することにより、100 年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

Ⅱ 調査の実施手法

調査の概要

調　　査　　日：2016 年 6 月 5 日（日）を中心に実施
調　　査　　者：『全国水環境マップ実行委員会（委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授）』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストで COD を測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と 3 種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストで COD を測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●ＣＯＤ（化学的酸素要求量）

水質汚濁の指標の一つとして用いられます。今回の調査も同一のロット番号（製造番号）のパックテストを用いて、同一試料を 3 回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

※パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

調査の手法

●採水

①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。
④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

●ＣＯＤの測定

①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
②添付の操作手順書に従い測定します。
③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
④同じ試水で 3 回測定します。







Ⅲ 調査結果の概要

調べてわかる　身近な水辺

全国各地の自然災害の被害を受けた皆さま、お見舞い申し上げます。

今年は、春に熊本県など九州各地で発生した大きな地震、そして９月には阿蘇山の噴火があり、夏には北海道と東北で台風が多く上陸しての水害、10 月に鳥取県など中国地方での大きな地震がありました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。４月に発生した熊本地震の直後でまだ余震が続く中、本調査にご参加いただいた皆さま、水質調査ご苦労様でした。安全に配慮をして実施したとのご報告があり事務局としてホッとしました。一方、安全上、中止の決断をされた団体の皆さまも調査の継続ができずに残念だったこととお察しいたします。

全国各地で自然災害が起きている中、実行委員長の小倉紀雄が提唱する市民環境科学の実践の一つとして本調査を位置づけ、今後も続けていきたいと思います。

※市民環境科学については 18 ページに記載しています。

全国統一日

調　査　日　2016年６月５日（日）
参加団体数　345 団体（個人参加含む）
調査地点数　1,951 地点

調査総数（全国）

期　　間　2016年５月 12 日～７月 26 日まで
参加団体数　750 団体［参考：第１回　531 団体、第２回　1,000 団体、第３回　944 団体、第４回　917 団体、第５回　997 団体、第６回　1,011 団体、第７回　913 団体、第８回　885 団体、第９回　926 団体、第 10 回　865 団体、第 11 回　792 団体、第 12 回　771 団体］
地点総数　5,270 地点［参考：第１回　2,545 地点、第２回　5,018 地点、第３回　4,923 地点、第４回　5,473 地点、第５回　6,241 地点、第６回　5,683 地点　第７回　5,909 地点、第８回　5,653 地点、第９回　5,581 地点、第 10 回　5,421 地点、第 11 回　5,544 地点、第 12 回　5,842 地点］
※８月に実施した調査結果を送っていただいた団体もありますが、これらは参考データとさせていただきます。

調査地点（海外）

調査のまとめ

本調査開始から 13 年目となる今年は、参加者延べ人数が 92,000 人を超え、来年には 10 万人に達することが期待され、本当に多くの皆さまが参加くださったと感じています。

今年は 750 団体により 5,270 地点が調査され、統一日の６月５日に実施した方々は 345 団体、1,951 地点でした。本調査は『全国で一斉に水質調査を行う』という特徴があり、同じ空の下、本調査参加者の連帯感、結果の活用も同一日に行うことによる比較可能なデータとするといったことがあります。今後の参加者の皆さまのご理解とご協力をたまわりたくお願いします。

水質調査の結果は、０～3mg/L 未満の地点が 24% と、３～6mg/L 未満と 6mg/L 以上の地点が 38% という結果でした。全体の水質データはこのような結果となりましたが、各地域、各参加者による各地の詳しい状況（天気や河川の水量、環境の変化など）を整理して、それぞれの地域の水環境保全に役立てていただきたいと思います。





全国一斉調査諸データの推移

●年別　参加団体及び調査地点数集計結果

作成：全国水環境マップ実行委員会

	都道府県名	2004 年		2005 年		2006 年		2007 年		2008 年		2009 年		2010 年		2011 年		2012 年		2013 年		2014 年		2015 年		2016 年	
		団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1	北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202	28	139	29	131	24	131	25	131
2	青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22	5	15	5	16	6	19	5	17
3	岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18	6	16	7	23	4	12	2	6
4	宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43	9	36	6	27	6	25	6	29
5	秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13	3	8	2	6	2	7	2	5
6	山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51	2	53	3	54	2	52	2	52
7	福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87	6	42	6	42	7	78	8	48
8	茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293	43	320	41	295	43	305	40	286
9	栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15	4	6	4	11	5	10	6	11
10	群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69	5	44	10	121	9	76	9	81
11	埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477	61	450	61	468	63	486	64	399
12	千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85	18	159	18	133	18	111	16	221
13	東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	111	630	105	689	109	651	106	681	100	608
14	神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298	38	321	37	378	39	374	37	385
15	新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367	24	298	26	317	28	318	25	269
16	富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24	5	22	4	15	4	12	6	15
17	石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12	3	8	2	7	2	7	6	12
18	福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45	4	50	3	47	4	46	3	43
19	山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162	40	169	39	171	40	208	39	196
20	長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208	28	222	23	289	25	380	22	303
21	岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	14	35	15	35	14	40	15	101	16	42
22	静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30	10	54	10	25	10	34	12	27
23	愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78	26	114	25	114	23	127	20	118	26	132
24	三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44	8	39	6	17	9	33	10	48
25	滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646	103	594	96	588	93	600	87	547
26	京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104	15	71	15	104	12	60	11	54
27	大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	64	280	43	229	37	201	28	213	24	188
28	兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147	37	125	37	147	34	136	33	136
29	奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56	15	42	14	44	13	31	10	22
30	和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48	8	22	4	22	4	19	5	14
31	鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4	2	5	2	5	3	21	2	3
32	島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15	7	16	8	28	4	81	3	31
33	岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238	13	217	12	196	12	275	10	249
34	広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43	5	54	5	47	7	79	9	62
35	山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23	6	25	5	21	3	18	4	17
36	徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142	36	144	31	158	30	140	23	85
37	香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12	4	13	3	12	3	12	2	10
38	愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150	11	133	6	175	6	155	5	145
39	高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58	10	43	14	45	16	53	14	84
40	福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77	17	61	21	82	24	84	22	76
41	佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43	15	56	11	36	5	19	5	20
42	長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16	8	25	7	73	7	34	4	12
43	熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10	9	33	4	19	5	39	5	35
44	大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26	5	47	3	36	4	40	2	11
45	宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38	4	49	4	62	3	47	4	55	5	44
46	鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8	7	14	4	8	4	13	2	11	3	12
47	沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32	8	36	10	63	6	34	8	43	10	47
	合計	547	2,545	1,031	5,018	978	4,923	937	5,473	997	6,241	1,039	5,683	956	5,909	940	5,660	959	5,581	882	5,397	836	5,544	818	5,842	785	5,270
	実団体数	531		1,000		944		917		997		1,011		913		909		926		865		792		771		750	

ただし調査団体数は同一団体が他都道府県に及んでいる場合重複カウントしている。　実団体数の数値が真値。

●参加者記入票集計結果

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
参加者総数	4,000	8,377	8,464	8,151	8,737	8,204	6,905	6,084	6,389	6,040	4,834	9,561	7,061
小学生以下		3,739	3,289	2,919	2,498	2,216	1,860	1,721	1,719	1,545	1,186	2,026	1,927
中学生以上の学生		945	923	931	958	919	766	684	704	851	707	1,133	771
大人		3,563	3,827	4,516	4,955	4,697	4,026	3,602	3,503	3,568	2,838	6,305	4,245

参加者記入票の人数は参加者からの記入されているとおりにカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。

●一斉調査日実施状況

実　施　年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
団　体　数	360団体	600団体	587団体	547団体	508団体	569団体	510団体	499団体	518団体	468団体	334団体	428団体	345団体
地　点　数	1,875地点	3,288地点	3,044地点	3,158地点	3,483地点	3,072地点	2,755地点	2,755地点	2,598地点	2,648地点	1,664地点	2,749地点	1,951地点

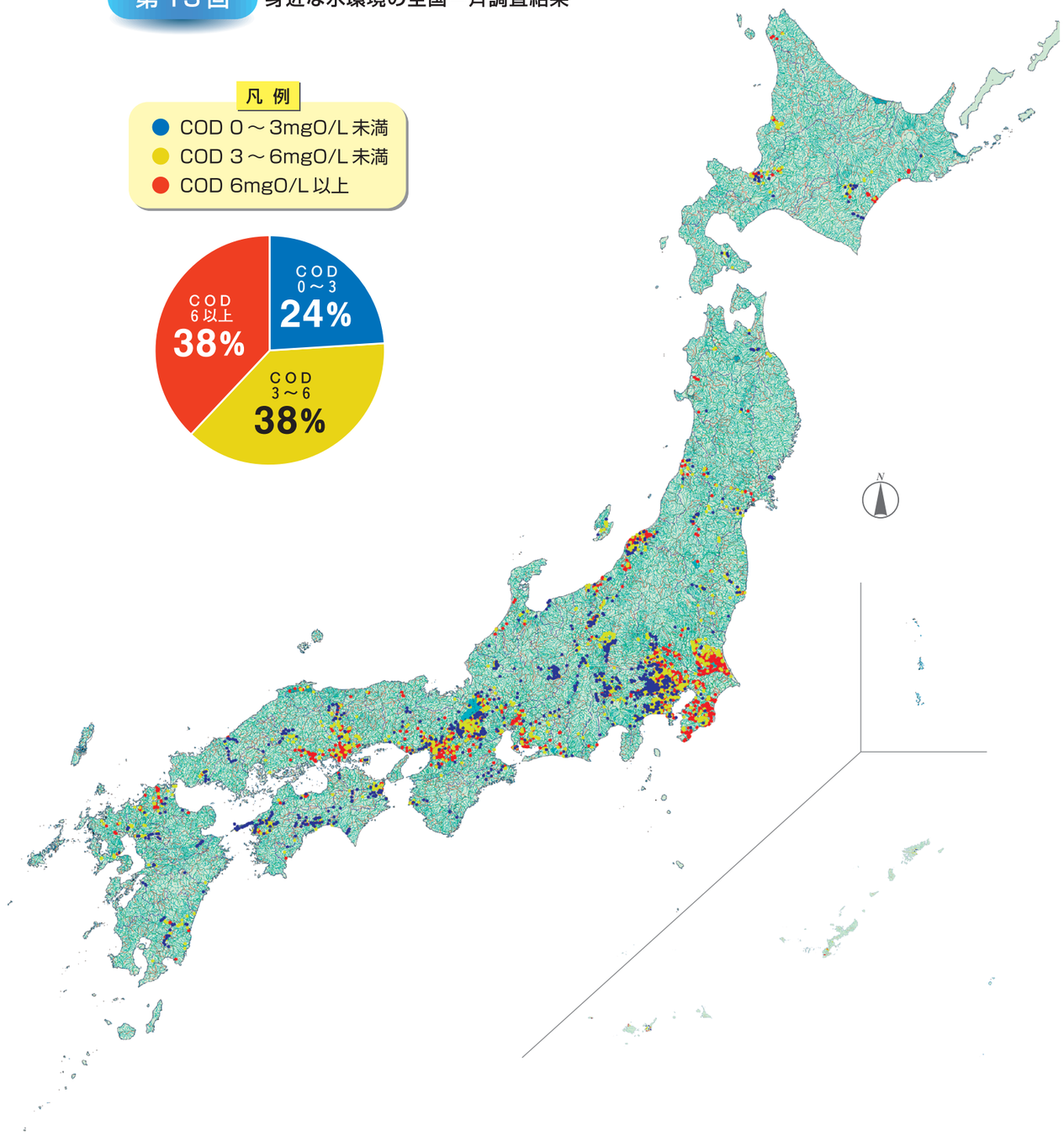
●海外データ

国　名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
中　国	8	5	63	ー	3	ー	2	1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
韓　国	4	1					3	2	ー	ー	ー	ー	ー	ー	1	6	ー
チェコ共和国				1					ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
イギリス									ー	ー	ー	2	ー	ー	ー	ー	ー

2016全国水環境マップ

第13回 身近な水環境の全国一斉調査結果

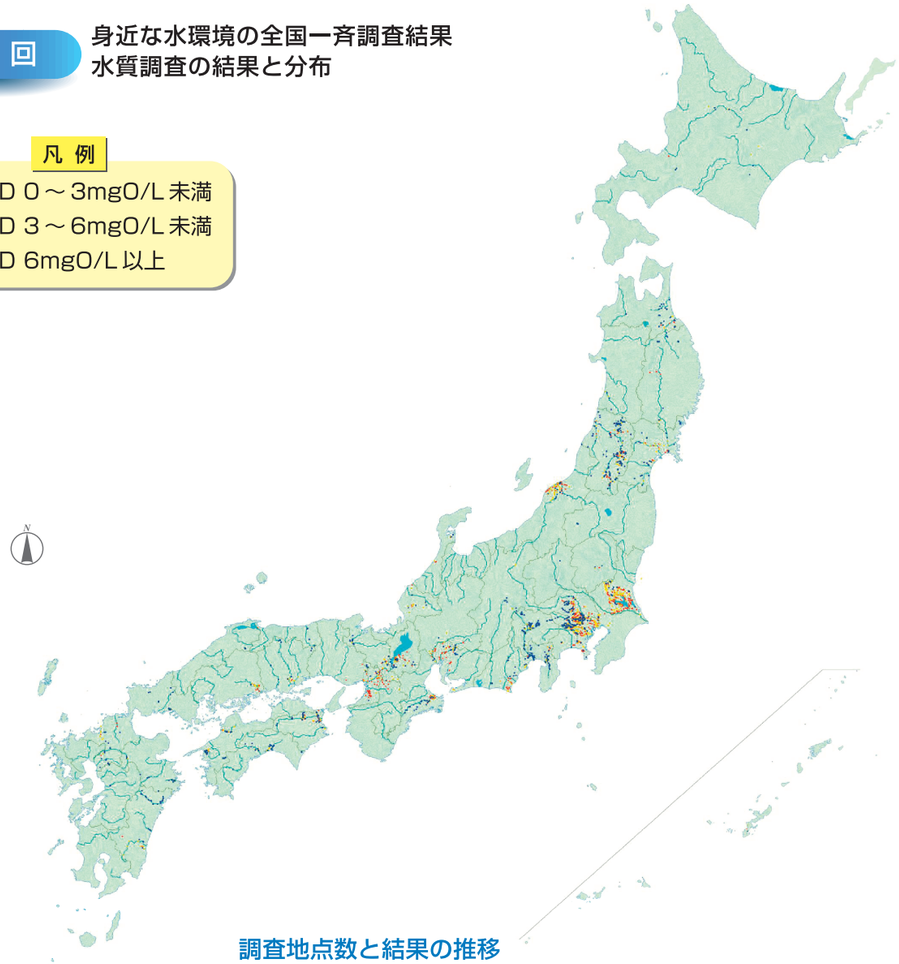
凡例
- COD 0～3mgO/L未満
- COD 3～6mgO/L未満
- COD 6mgO/L以上



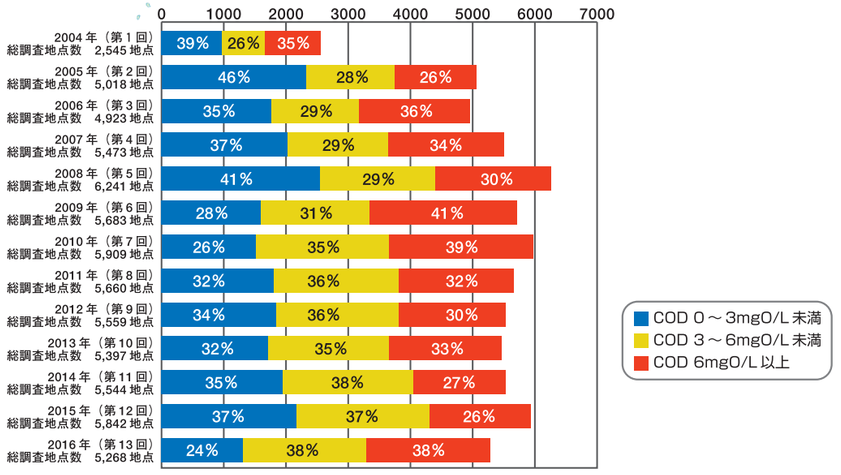
2004全国水環境マップ

第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例
- COD 0～3mgO/L未満
- COD 3～6mgO/L未満
- COD 6mgO/L以上

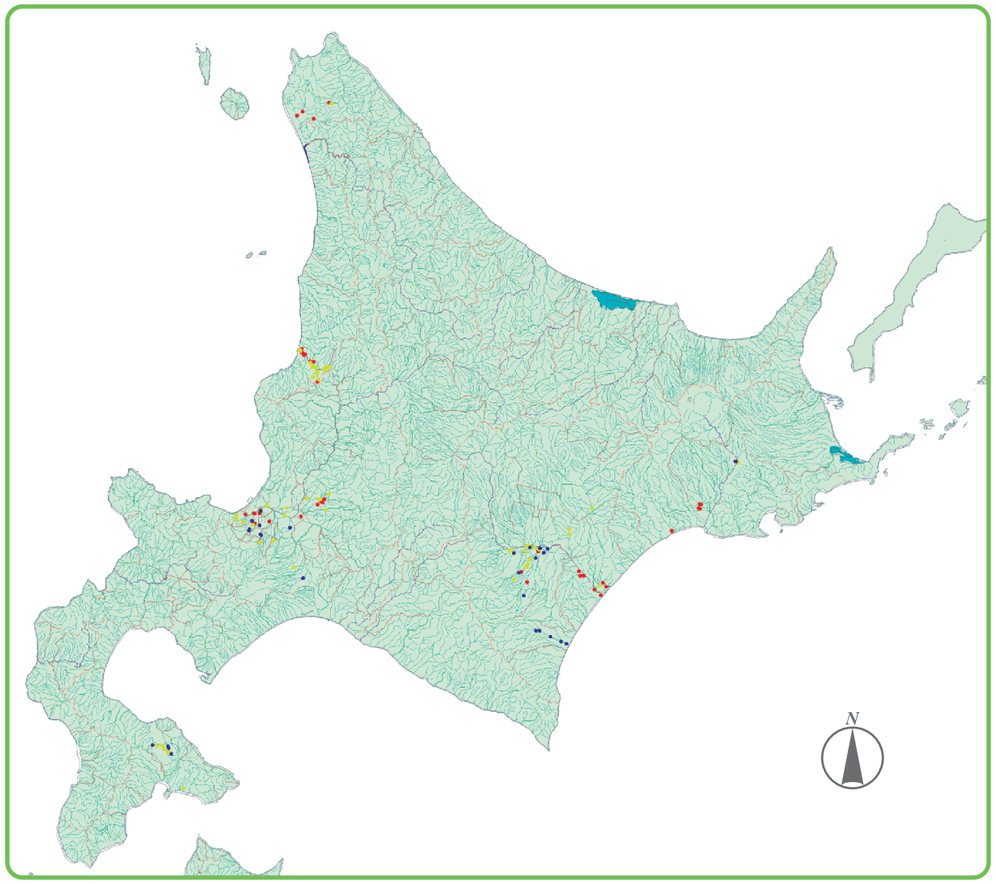


調査地点数と結果の推移



Ⅳ 各ブロックでの調査結果

北海道地方



参加者からのコメント

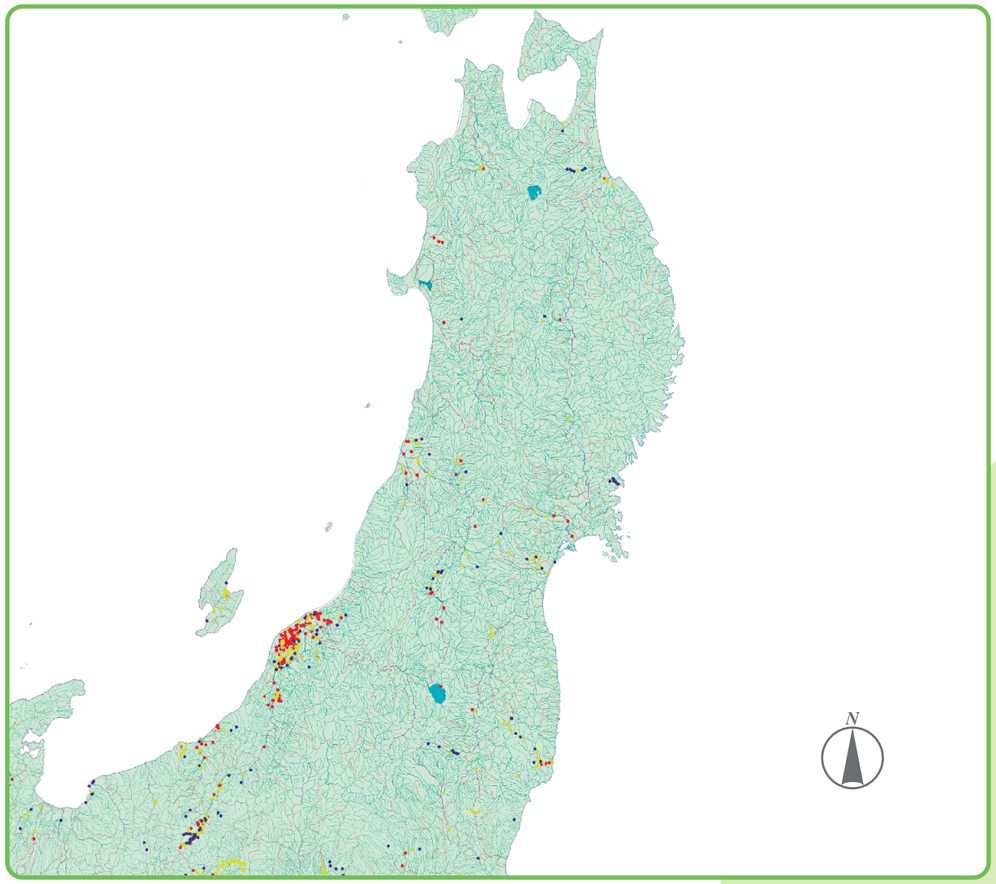
- 今年、この地点のみCODが高かったが、原因は不明である。水中のバイカモが少し減ったように感じた。
- 畑作地帯からの支流との合流点(支流に農業廃棄物等流入なし) 水量が減っている。
- 川は見た目非常にきれいで、草木も青々と茂っている。水量はやや少なく感じる。





東北地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

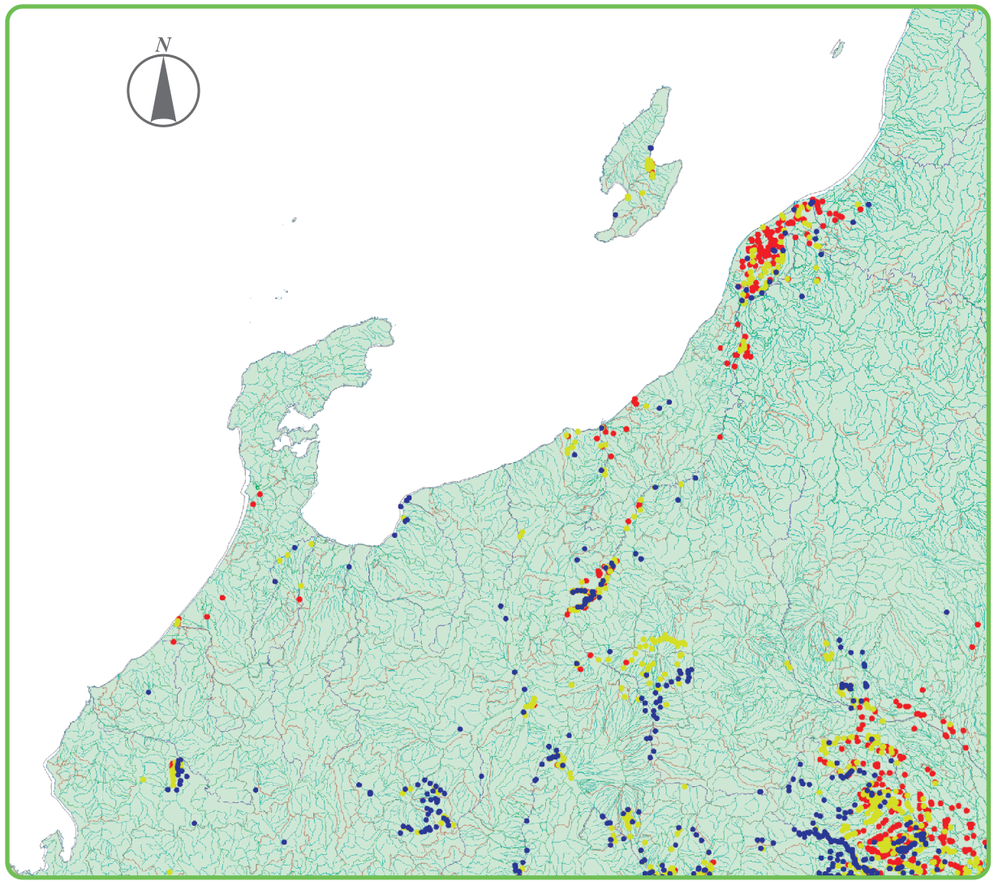
- 定期的に清掃をされている団体があるようです。駐車場に集められたごみの山がありました。一昨年から生物がいっぱいいるという状況から「あまりいない」に変わってきました。
- 6月1日名取川水系渇水対策本部が設置されました。なるほど本当に水が少なくなっていました。
- 水量が減少し、川岸の幅が広くなってきている。小魚が多くすんでいたが最近は観測されず残念。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

北陸地方



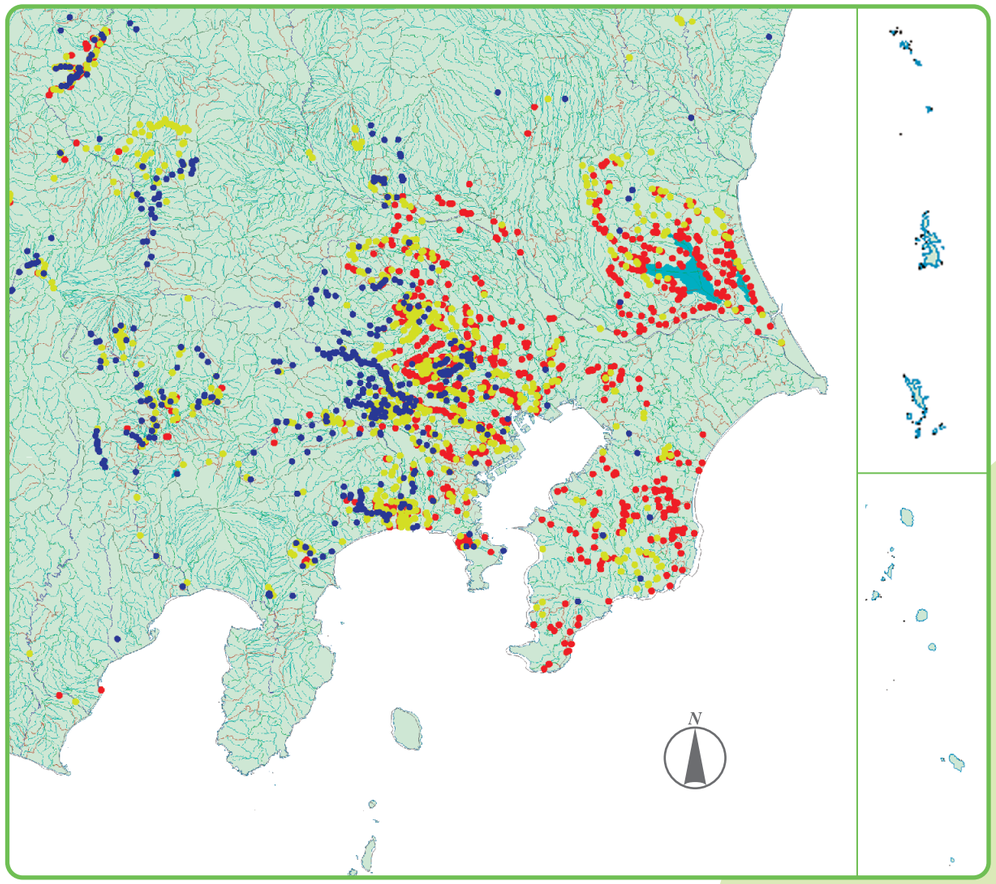
参加者からのコメント

- 今年も佐渡地方は、降水量が極めて少ない。現地の水量は非常に少なく、生物多様性の面で心配。
- 小学4年生の総合野外学習へのボランティアもやっているので若手参加の声掛けを心掛けたい。
- 毎年6月第1日曜日の恒例行事としている。
- 水質調査に合わせて、午後からは「地球上での水の循環」・「バーチャルウォータークイズ」を行い、暮らしと水の関わり合いや水を汚さないためにはどうしたら良いかを、スカウトと一緒に話し合った。





関東地方



参加者からのコメント

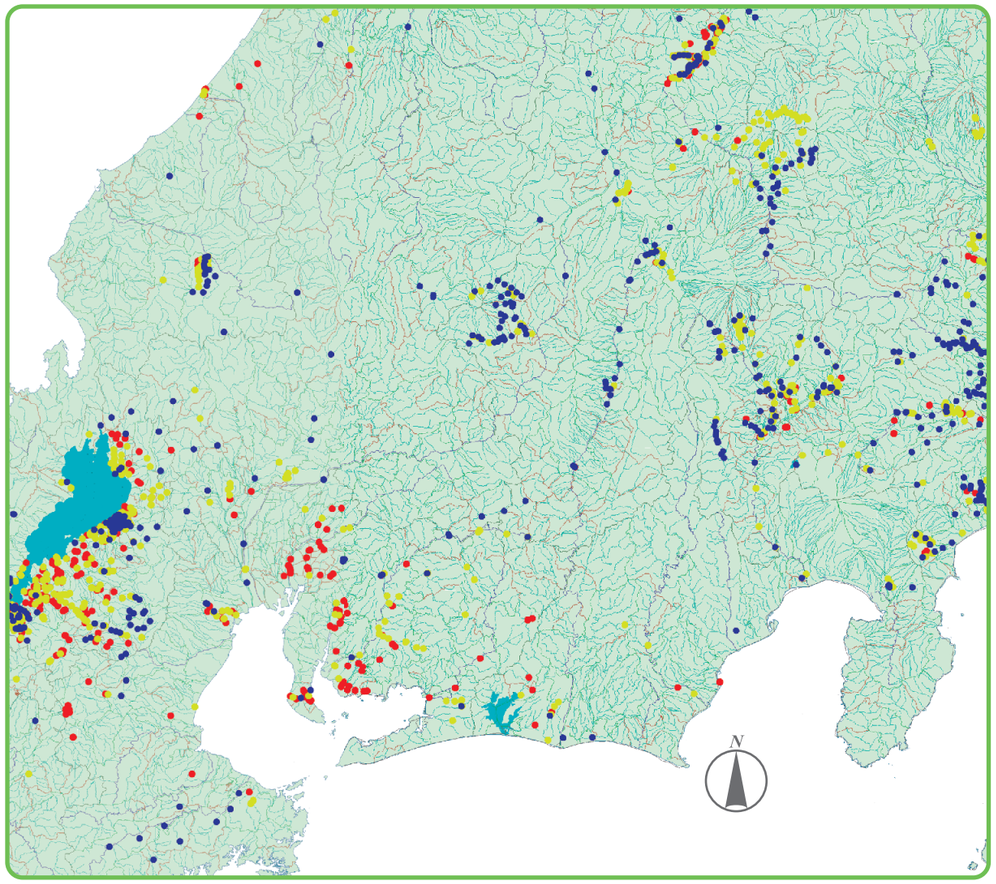
- 自宅そばの川で今年「ホタル」が観察されました。ここに、20年あまり住んでいますが、初めてです。この光景がずっと続けばいいなあと思っています。
- おかげさまで水質調査実施日(6/5)は朝方の雨が上がり晴まとなり和気あいあいと調査ができました。恒例行事となり、毎年違った人の参加が楽しみの一つとなりましたことはありがたいことと感謝致します。
- 今年は河川の水量が少なくＣＯＤ値は高めでした。一部の地点で電気伝導度と透視度を調査しました。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

中部地方



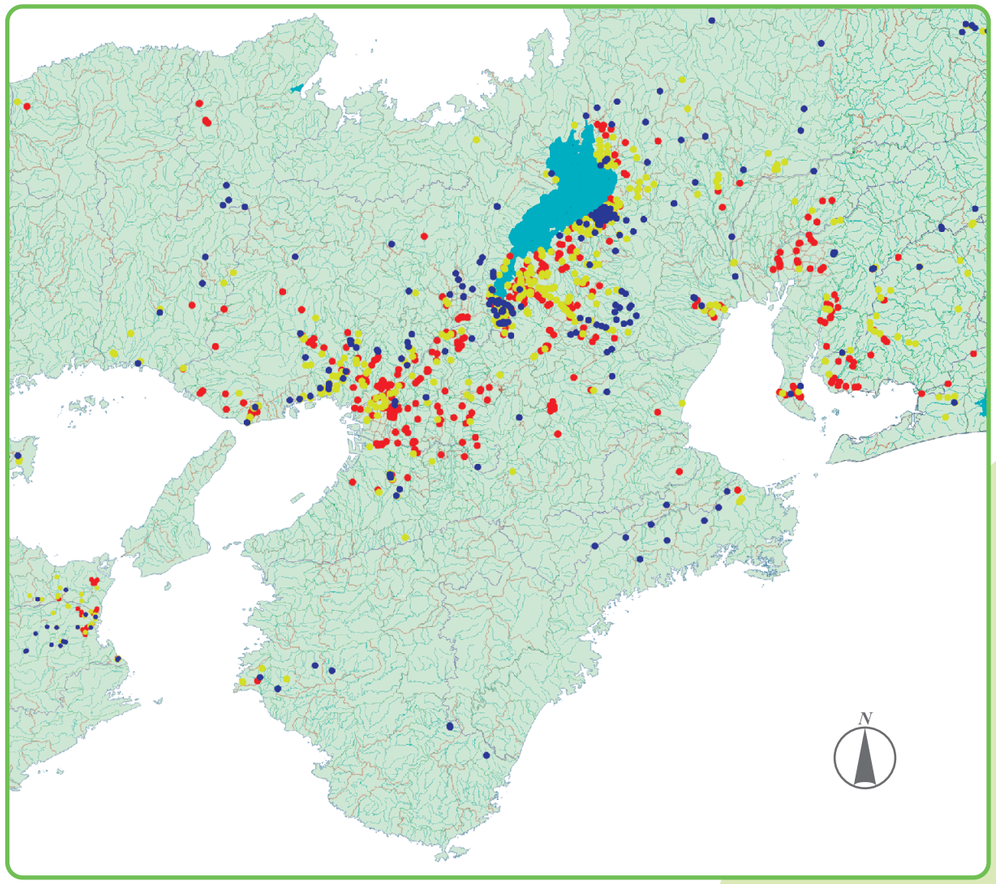
参加者からのコメント

- 毎回、毎地点で8以上で希釈して行なってみたいと思います。
- 今回もほぼ止水状態でした。濁度も今までとほぼ同じ。浮遊するごみ類は年々減少していると思います。山間の上流部と比べると少し生ぐさい気がします。
- 小学校4年生の川の健康診断の見守りボランティアが終了後でしたので、上流の川の水質調査のみとなりました。





近畿地方



参加者からのコメント

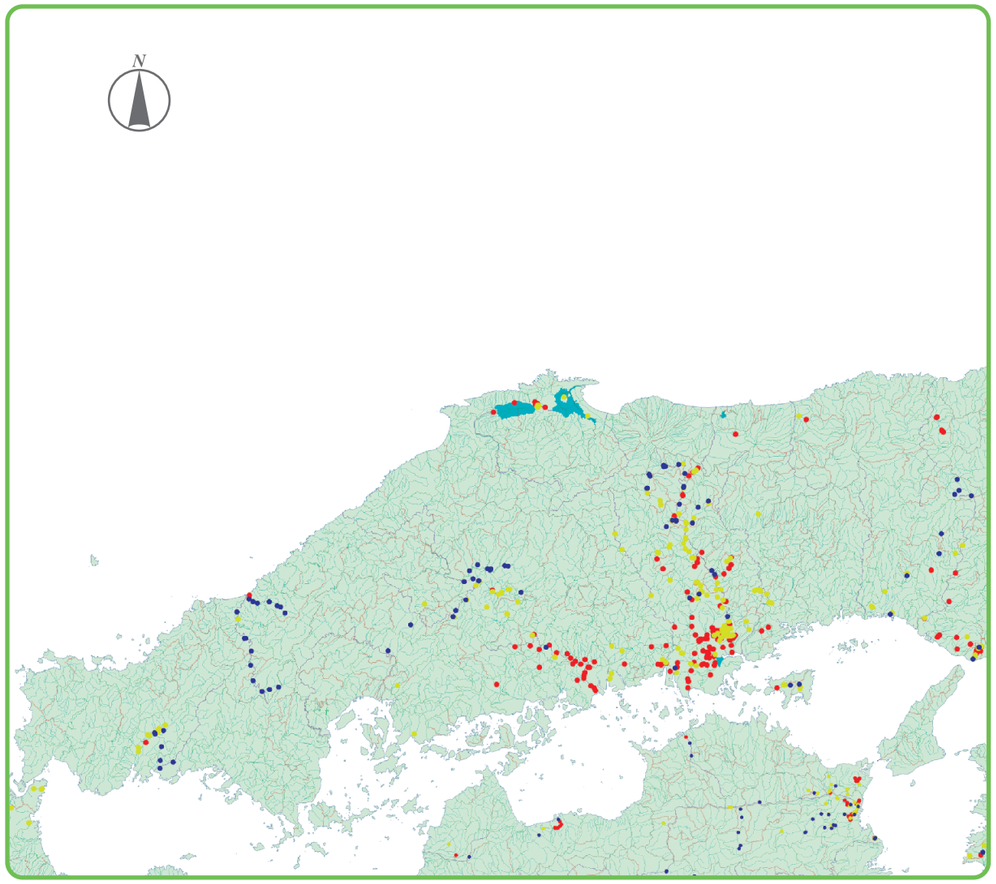
- 前日の雨のせいか、昨年よりCOD値は高かった。
- いつの間にか我が家の年に一度の行事になっています。子どもが中1の時に初めて参加し、今年はその子が運転で各調査地点へ向かいました。ところでお願いなのですが、調査時に周りの方に「調査中」であることがわかるように腕章やジャンパーなどがあれば助かります。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

中国地方



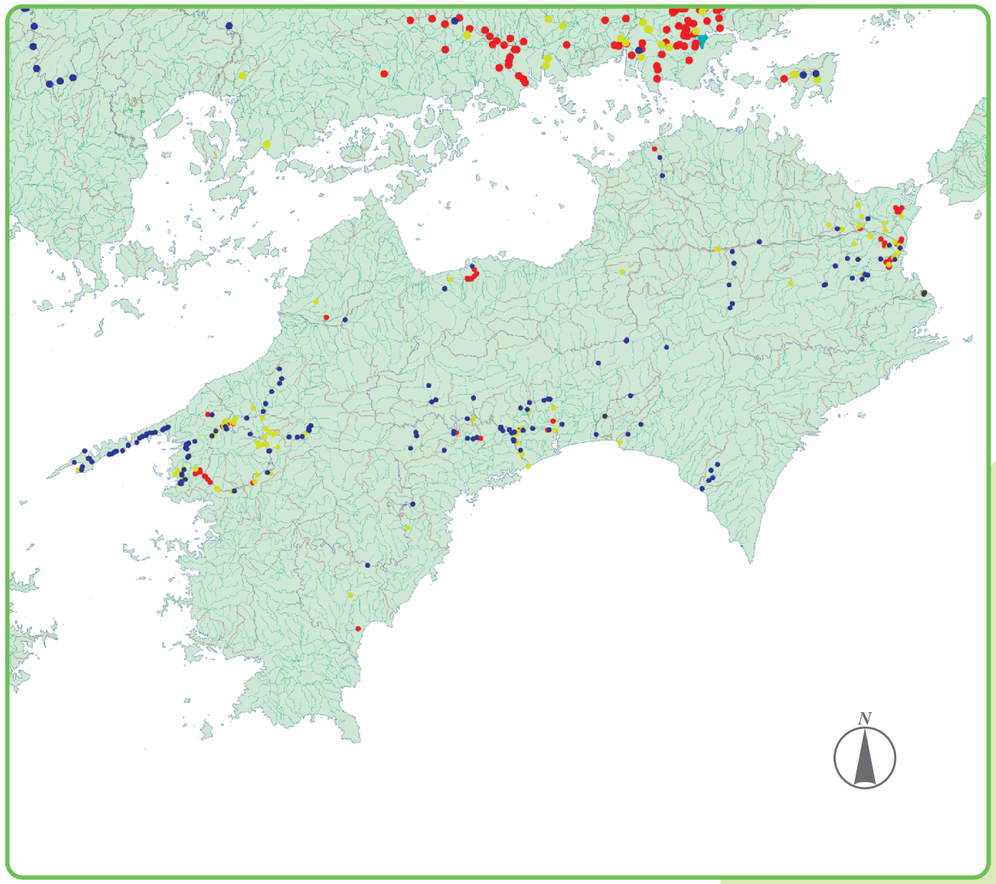
参加者からのコメント

・初めての参加でした。地質関係の調査者が多く、生物の同定が難しかったようでした。
・泥の蓄積は昨年より多く感じた。水はきれいで、タニシも良く見えた。
・6月5日は降雨で増水しており、ダムの下流以外、いつもとは全く違う高いCOD値でした。
・前日雨天のため濁りあり、秋鹿川は宍道湖よりも濃い青みがかった緑色だった。
・草や葦が川の中に沢山はえ、ゴミが引っかかっていた。





四国地方



参加者からのコメント

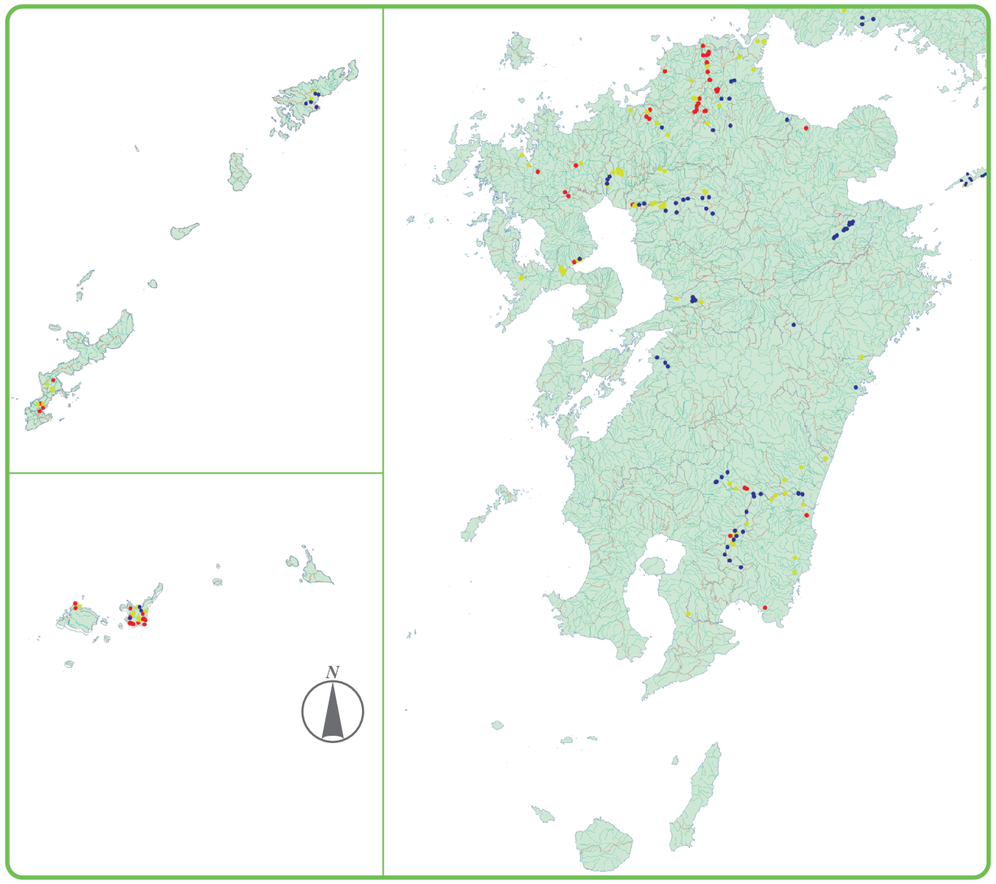
・今回はきれいな水を求めて県外から移り住んで来られている元地域おこし協力隊のご夫婦、東京から移住して５年以上の方、県外から移住して１年のご夫婦、全部で６名で調査しました。皆さん、水の調査にとても関心をもっておられ、この調査を通じて交流することができ、コミュニケーションが広がりました。次回も参加予定です。次回は次代を担う子どもさんの参加を呼び掛けることにしています。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

九州・沖縄地方



参加者からのコメント

- まだまだ昔と比較しても水辺周辺の景観は良いとは言えず、自然度は低い。もっと住民の意識が低いところを改善したい。
- 6/5は梅雨に入ると思われますので早めに実施しました。
- この時期は田んぼの代掻きがあり、河川の景観が変わり梅雨にも当たるため、天候に気を使います。
- 雨が上がるのは久しぶりなので、子どもたちは大喜びで、なかなか上がってこなかった。きれいな水にいる生き物ということを教えてもらって、水質調査をした後なので、興味深げにのぞき込んでいた。





Ⅴ 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

子ども達の水環境学活動への官学民産協働活動

次世代のためにがんばろ会
連絡先　〒866-0856 熊本県八代市通町 6-43
HP http://ganbarokai.com/

私たちは、熊本県八代市の環境ボランティアグループです。

「**次世代の子供達が健康で安全な生活を送れるように・・**」をコンセプトに環境問題を真剣に考え、活動しています。幸いにも、環境を本当に大事に思う仲間や顧問の先生にも 恵まれました。これからの世代のために、そして私たちの愛する地域のために、力を合わせて いきたいと思います。

水関係　活動紹介

★毎年下記の活動を行っています。

◆**「身近な水環境の全国一斉調査」「熊本県依頼：川の環境調査」**（平成 14 年から毎年継続中）

「身近な水環境の全国一斉調査」と「熊本県身近な川の調査」にあわせ、市内の川の水質検査を実際の現場（上流・中流・下流）で、学校の授業時間で行います。地域の河川状況を五感体験で学ばせることで、川や水への愛護心が生まれます。

この他、「水環境出前授業」、「氷川ダム流域デイキャンプ」、「牡蠣殻を使用した水浄化大作戦」、「くま川水浴場」、「くま川大好きな日」、「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」、「子どもごみパトロール隊」と多くの活動を年間に行っています。

「くま川水浴場」では、球磨川流域住民の方々と一緒に、水辺でさまざまな遊びや川の安全・防災教育も踏まえた学習をとおし、『球磨川に感謝する人づくり』を目指し、『くま川大好きな日』では、水辺でさまざまな遊びや学習をとおして、『川にゴミを捨てない人づくり』、と『球磨川に感謝する人づくり』を目指しています。





そして、当会 1 年間の活動に参加した子どもたちが一同に参加し、川で観察したことや、体験したこと、取り組んだ活動などを発表会として、川の体験活動発表会の実施をしています。



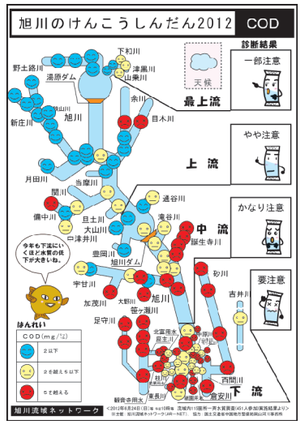
Ⅴ 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

旭川流域一斉水質調査 市民と行政の連携の再構築に奮戦中！

旭川流域ネットワーク（AR-NET）

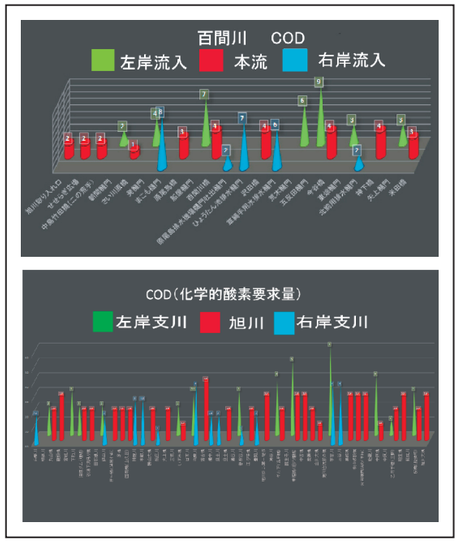
事務局　〒703-8255　岡山市中区東川原 354-18
TEL:090-1181-1090　E-mail: okakawa2@yahoo.co.jp
http://blogs.yahoo.co.jp/okakawa2



「旭川流域ネットワーク（AR-NET）」は、平成９年の河川法改正により、河川管理の目的に「環境」が加わり、「河川の計画に地域の意見を反映」することになったことを契機に発足した岡山県の旭川流域の市民ネットワークです。流域の情報の共有による、緩やかな連携を目的とし、行政との前向きな話し合いが出来る市民団体の育成活動を行っています。流域をつなぐ手段として、毎年１本旭川源流の碑をリヤカーに積んで建立地から流域を往復するリレー（運搬距離約 400ｋｍ）を行っています。活動を初めて 20 年目となる今年は、20 本目となる旭川源流の碑が 11 月 27 日に建立されることになっています。

流域全体にネットワークがあることから、日本陸水学会から 1999 年（平成 11 年）の「陸水観測 100 周年記念事業」として、同じ日の同じ時間に流域全体の水質を一斉に調査して欲しいとの申し出があり、流域の 58 箇所を約 300 名の参加により、気温、水温、COD、PH、NO2-N の調査を実施しました。

これが、今年で 18 年目となる「旭川流域一斉水質調査」のスタートです。以後、2000 年（平成 12 年）からは、旭川流域の市町村と河川管理者が行政間での流域情報の共有と意見交換の場として設けた「旭川流域連絡協議会」から試薬の提供を受けて水質調査を継続実施しました。行政が試薬を提供し、調査は市民で行い、その結果を AR-NET がまとめて、旭川流域連絡協議会に提供し、協議会が印刷して参加している市町村の窓口で、その結果を配布するという市民と行政の連携が出来ていました。しかし、流域連絡協議会は、平成の大合併のころから活動を休止しています。このため、2004 年（平成 16 年）に全国水マップ実行委員会が始めた第一回の水質調査から実行委員会からＣＯＤの試薬を、岡山河川事務所からNO2-NとＰＨの試薬の提供を受け、継続して実施していますが、流域の市町村窓口での結果の公開が行えなくなっているため、協議会の事務局の河川管理者に活動再開を要望し続けています。



当初は、市民が自ら身近な川や用水の調査をすることに意義があると、大勢の参加を呼びかけて体験を重視して実施していましたが、回を重ねるうちに次第に悪化する旭川の水質の状況が分かるため、原因は何か、どこから汚れた水が流れてきているのかが分かるように調査を行うべきだとの意見が多くなりました。そこで、平成 26 年からは、旭川本川と流入する支川の関係を３Ｄのグラフにまとめて公開しています。

とうきゅう環境財団「社会貢献学術賞」 日本陸水学会　「田中賞」Ｗ受賞

実行委員長の小倉紀雄がとうきゅう環境財団の「社会貢献学術賞」と日本陸水学会「田中賞」を受賞いたしました。とうきゅう環境財団の「社会貢献学術賞」での研究課目は「水界環境科学の進展と市民環境科学への貢献」であり、小倉実行委員長の市民環境科学の提言が評価され今回の受賞となりました。

本調査も市民環境科学の実践として、全国多くの市民の皆さまに参加していただき、全国の水辺の水質調査を行ってきました。これからも「100 年の眼」で身近な水環境の全国一斉調査は市民環境科学の実践をしていきます。



改めて小倉実行委員長の考える市民環境科学について記載いたします。

「市民が身近な環境を自ら調べ、得られた結果を整理し実態を明らかにする。それらの活動を通し、身近な環境から地球規模の環境まで広く考え、問題解決のための実践活動にむすびつけること」

市民環境科学への招待より抜粋　裳華房 2003 年

国土交通省からのお知らせ

感覚的な水質指標による 身近な川の水質調査

参加者募集！

国土交通省では全国 109 の一級水系で、定期的に採水し、水質試験場に運搬して水質調査を実施しています。しかし、その他にも、人の感覚による水質調査を全国の有志の皆さんと実施していることはご存知でしょうか？

皆さんが普段親しんでいる身近な川で、ゴミの量が少ないか、川底の感触がぬるぬるしていないか、においがしないか、どんな生物が生息しているか、など実際に体感しながら調査することは、多くの皆さんに川の水質への関心を持っていただくきっかけになり、また、細やかに全国的な水質の傾向を把握する上でも大変重要です。


常呂川（北海道北見市）での調査

この取組みは既に、夏休み期間中の小中学生の皆さんを中心として毎年１万人以上の方にご協力をいただいて実施しています。是非、一斉調査にご参加の皆様にもご協力をいただければ幸いです。具体的な内容に関しては随時ご相談を承っておりますので、お近くの国土交通省の河川事務所にお問い合わせ下さい。

また、これらの調査結果については、「全国一級河川の水質現況」の中で毎年公表しています。平成 26 年からはパンフレット形式の資料も作成し、水質の改善が地域の活性化につながった事例や、水質の改善に向けた地域の取組などについてわかりやすくご紹介していますので、詳しくは「**全国一級河川の水質現況**」で検索してご覧下さい。

URL　http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/suisitu/

Ⅵ 継続調査参加団体

皆勤賞

13年参加（結果提出）団体（合計85団体）

北海道	NPO法人十勝多自然ネット	埼玉県	新座の自然と暮らしを守る市民の会	東京都	グループひの消遣	福井県	大野の水環境ネットワーク
宮城県	NPO法人宮城県河川環境研究会	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	八王子西南地区環境市民会議	山梨県	Yamanashiみずネット
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	東京都	川づくり清瀬の会	東京都	東京都山岳連盟自然保護委員会	山梨県	大泉・水と緑を守る会
茨城県	一般社団法人 霞ヶ浦市民協会	埼玉県	生活クラブ生協所沢南支部	東京都	東京NPO−21研究所	山梨県	風間・瀧澤グループ
茨城県	石岡市	埼玉県	NPO法人　エコシティ志木	東京都	エコネット町田	山梨県	メダカクラブ
茨城県	牛久市	埼玉県	地域の自然を考える会	東京都	はむら水と緑の会	長野県	諏訪湖クラブ
茨城県	つくば市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	環境・国際研究会	岐阜県	NPO法人長良川環境レンジャー協会
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	玉川上水ネット	静岡県	三島ゆうすい会
茨城県	かすみがうら市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	府中かんきょう市民の会	愛知県	庄内川松並木つくり隊
茨城県	茨城町家庭排水協議会	東京都	西東京生活者ネットワーク	東京都	あおばく・川を楽しむ会	愛知県	大山川を愛する市民の会
茨城県	小美玉市	東京都	自由学園	東京都	AMR	滋賀県	認定NPO法人びわこ豊穣の郷
茨城県	笠間市役所岩間支所地域課	東京都	明法中学高等学校　科学部	東京都	東京環境工科専門学校　増穂班	京都府	相楽環境委員会
茨城県	鉾田市役所生活環境課	埼玉県	東川を愛する会	東京都	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	大阪府	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
茨城県	神栖市	埼玉県	NPO法人　荒川流域ネットワーク	東京都	足立区荒川ビジターセンター	岡山県	旭川流域ネットワーク
茨城県	行方市役所	東京都	浅川流域市民フォーラム	東京都	林・宮島ファミリーズ	山口県	山口市立白石中学校
茨城県	美浦村役場　生活環境課	東京都	八王子ランドマーク研究会	東京都	いたばし野鳥クラブ	徳島県	地蔵橋駅前町内会環境委員会
茨城県	河内町	東京都	八王子中央地区環境市民会議	東京都	北区水辺の会	徳島県	徳島市市民環境部環境保全課
茨城県	利根町	東京都	日野市環境共生部　緑と清流課	東京都	国分寺みずっこクラブ	徳島県	ガールスカウト徳島第9団
埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	八王子市東南部環境市民会議	神奈川県	東京都市大学　小堀・咸研究室	徳島県	ガールスカウト徳島第7団
埼玉県	環境を考える市民の会・むさし村山	東京都	程久保川を考える会	神奈川県	鶴見川・水質チーム	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団
東京都	東久留米ホタルを呼びもどす会	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	新潟県	NPO法人新潟水辺の会	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会

5年以上の参加団体（今年度参加をした上記以外の団体）

北海道	帯広稲田冒険遊びの会	埼玉県	砂川流域ネットワーク	東京都	八王子東部地区環境市民会議	新潟県	長岡技術科学大学　資源エネルギー循環研究室	長野県	グリーンヒル友の会
北海道	留萌川を楽しむ会	埼玉県	柳瀬川をきれいにする会	東京都	日野の自然を守る会	新潟県	NPO法人関川水辺クラブ	長野県	水環境チーム
北海道	こどもエコクラブくしろ　JEC	東京都	空堀川を考える会	東京都	せたがや野川の会	新潟県	新潟県ビオトープ管理士会	長野県	NPO法人　みどりの市民
北海道	和光技研株式会社	東京都	西東京の自然を見つめる会	東京都	一般社団法人　全国上下水道コンサルタント協会	新潟県	新潟市民大学講座	長野県	天竜川総合学習館かわらんぺ
北海道	手稲さと川探検隊	埼玉県	黒目川に親しむ会	東京都	福生水辺の楽校運営協議会	新潟県	特定非営利活動法人加治川ネット21	岐阜県	大垣市環境市民会議　水門川いきいきプロジェクト
北海道	環境クリエイト（株）	埼玉県	生活クラブ生協朝霞支部	東京都	あきしま水辺の楽校	新潟県	潟上水辺の会	岐阜県	NPO法人飛騨小坂200滝
北海道	札幌市豊平川さけ科学館	埼玉県	所沢市立東中学校おやじの会	東京都	神田川ネットワーク	新潟県	樽川を守る会	岐阜県	NPO法人いびがわミズオデエコステーション
北海道	サロベツ体験隊	埼玉県	あさか環境市民会議	東京都	小金井環境市民会議	新潟県	新潟県西蒲原土地改良区	岐阜県	学校法人西濃学園
北海道	歴舟川の清流を守る会	埼玉県	NPO法人　和光・緑と湧き水の会	東京都	緑川を豊かな環境にする会	新潟県	小阿賀未来の会	岐阜県	（財）いびがわ　生命の水と森の活動センター
北海道	幾春別川をよくする市民の会	東京都	川クラブ	東京都	(公財)埼玉県生態系保護協会戸田・蕨支部	新潟県	越後新川まちおこしの会	岐阜県	NPO法人泉京・垂井
北海道	利根別川をきれいにする市民の会	埼玉県	三貫清水の会	東京都	NPO法人セッタアース・市民による自然共生パンゲア	新潟県	朱鷺が夢見る水辺を考える会	静岡県	ガールスカウト静岡県第19団
北海道	十勝川のシシャモを守る会	埼玉県	鴻巣の環境を考える会	東京都	江戸川生活者ネットワーク	新潟県	西川を創る会	静岡県	磐田市電洋テニススポーツ少年団
北海道	函館水産高校	埼玉県	霞川くらしの楽校	東京都	板橋水辺を楽しむ会	新潟県	自然環境見守り隊	静岡県	サンクチュアリジャパン
北海道	帯広川伏古地区子どもの水辺協議会	埼玉県	川の博物館ボランティアの会	東京都	国際環境アートムーヴ川口	新潟県	エコクラブ　サンダーバード	愛知県	NPO法人　環境研究所豊明
青森県	HEP21エコクラブ　JEC	埼玉県	もりんど	東京都	下平井水辺の楽校	富山県	元気マン	愛知県	天白・川辺の楽校
青森県	NPO法人水辺の楽校まべち	埼玉県	さいたま市リバーキーパーズ	東京都	狛江水辺の楽校	富山県	小矢部川に学ぶ会	愛知県	たから子どもエコクラブ
青森県	奥入瀬川クリーン対策協議会	埼玉県	高麗川ふるさとの会	東京都	江東自転車エコライフの会	富山県	みずほく地域学芸員	愛知県	明倉川育水フォーラム
岩手県	雫石児童館	埼玉県	生活クラブ生協白高支部	東京都	狛江市環境を考える会	石川県	「美川自然人クラブ」	愛知県	小さいエコ家族 JEC
岩手県	大深沢水圏委員会	埼玉県	自然を守る狭山リサイクルの会	東京都	身近な川の一斉調査実行委員会	山梨県	若月ファミリー	愛知県	愛知モリコロアースエコクラブ JEC
宮城県	仙台リバーズネット梅田川	埼玉県	かわごえ環境ネット	東京都	美しい多摩川フォーラム	山梨県	まちづくり時習塾	愛知県	鯱城・堀川と生活を考える会
宮城県	（公財）おやぎ・みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）水都会	埼玉県	育てる会	東京都	青梅・多摩川水辺のフォーラム	山梨県	富士川ファンクラブ・市川大門地区	愛知県	山崎川クリーンマップ
秋田県	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	埼玉県	市野川エコクラブ	東京都	おさかなボストの会/ガサガサ水辺の移動水族館	山梨県	富士川ファンクラブ・南部地区	愛知県	河和中区河川環境対策委員会
秋田県	能代市こども環境探偵団	埼玉県	荒川の自然を守る会	東京都	法政大学水文地理学研究室	山梨県	富士川ファンクラブ・身延地区	愛知県	矢作川環境技術研究会
福島県	夢ほたる・こおり	埼玉県	鶴ヶ島の自然を守る会	東京都	NPO法人境川緑のルネッサンス	山梨県	みずネット・おもがわ	愛知県	みなと塾
福島県	西郷くらしの会	埼玉県	立正大学地球環境科学部	東京都	バックテス共の会	山梨県	宮田ファミリー	愛知県	刈谷市民会議
福島県	白河くらしの会	埼玉県	熊谷の環境を考える連絡協議会	東京都	日野市環境市民大学の会	山梨県	松田(悟)グループ	三重県	宮川流域ルネッサンス協議会
福島県	夏井川流域の会	埼玉県	槻川をきれいにする会	東京都	海城中学・高等学校　地学部	山梨県	みずすまし	滋賀県	NPO法人 蒲生野考現倶楽部
茨城県	国土交通省　霞ヶ浦河川事務所	埼玉県	生活クラブ生協寄居支部	東京都	世田谷区立玉川小学校	山梨県	富士川ファンクラブ・増穂地区	滋賀県	NPO法人瀬田川リバプレ隊
茨城県	鹿ヶ崎市	埼玉県	東洋大学	神奈川県	桂川・相模川流域協議会	山梨県	小松ファミリー	滋賀県	野洲川に親しむ会
茨城県	湖来市	埼玉県	与野・水と緑の会	神奈川県	目久尻川をきれいにする会	山梨県	八ヶ岳野鳥クラブ	滋賀県	湖南流域環境保全協議会
茨城県	稲敷市	埼玉県	小畦の会	神奈川県	さむかわエコネット	山梨県	計画課チーム	滋賀県	環境文化推進市民会議
茨城県	筑西市	埼玉県	さやま環境市民ネットワーク	神奈川県	ニヶ領用水ウォッチング・フォーラム	山梨県	富士川ファンクラブ・鰍沢地区	滋賀県	草津塾
茨城県	阿見町家庭排水浄化推進協議会	埼玉県	白岡市観光協会水辺の里親会	神奈川県	国土交通省　関東地方整備局　京浜河川事務所	山梨県	富士川ファンクラブ・中富地区	滋賀県	栗東市環境政策課
茨城県	桜川市	埼玉県	市野川水系in滑川町	神奈川県	まいおか水と緑の会	山梨県	富士川ファンクラブ・三珠地区	滋賀県	（株）グリーンちゅうず
茨城県	土浦市	埼玉県	小川町児童館　JEC	神奈川県	天王森泉公園	山梨県	山田ファミリー	滋賀県	NPO法人環境を考える会
茨城県	みどりの会	千葉県	カヌークラブかわせみ	神奈川県	横須賀SL研究会　JEC	山梨県	豊富 蛍の里づくりの会	滋賀県	滋賀県南部環境事務所
茨城県	八清たんけんたい　JEC	千葉県	環境会議おおあみしらさと21	神奈川県	沼間里山の会	山梨県	イデッチ	滋賀県	琵琶湖ネット草津
茨城県	大子くらしの会	千葉県	たんぽぽ　JEC	神奈川県	神奈川県山岳連盟自然保護委員会	山梨県	富士川下流出張所	滋賀県	宮町子ども会
茨城県	茨城県山岳連盟自然保護委員会	千葉県	自然観察やまぼうし　JEC	神奈川県	NPO環境ファミリー葉山	山梨県	大月小松ファミリー	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会
群馬県	城沼を考える市民会議	千葉県	河南環境美化の会	神奈川県	NPO法人　藤沢グリーンスタッフの会	山梨県	生活クラブ生活協同組合（山梨）	滋賀県	鹿深の里　甲賀流域環境保全協議会
群馬県	川と親しむ会	千葉県	NPO法人南外房環境クラブ	神奈川県	大岡川流域まちかわ衆	長野県	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	滋賀県	野洲川を愛する会
群馬県	NPO法人新田環境みらいの会	千葉県	二重川に親しむ会	神奈川県	水辺愛護会　帷子川はふるさとの川の会	長野県	千曲川水生昆虫研究会	滋賀県	茶釜川を美しくする会
東京都	北川かっぱの会	東京都	多摩市水辺の楽校	神奈川県	辻堂ゴミゼロクラブ	長野県	戸隠地質化石博物館	滋賀県	イワタニラジドさとづくり会
東京都	東久留米ほとけどじょうを守る会	東京都	浅川潤徳水辺の楽校	神奈川県	大磯児童館　こどもエコクラブ	長野県	飯水自然調査研究委員会	滋賀県	淡海めだかの学校
埼玉県	県立所沢北高校	東京都	Kie&Koki	神奈川県	ファミリー原さんち	長野県	軽井沢水楽会	滋賀県	ワイワイあぼしクラブ
埼玉県	不老川流域川づくり市民の会	東京都	（株）SRL遺伝子・染色体解析センター	神奈川県	笹下川再生プロジェクト実行委員会	長野県	湯川　水の会	滋賀県	信楽の川自然愛護の会
埼玉県	かわごえ環境ネット 新河岸川水系グループ	東京都	高尾・浅川の自然を守る会	新潟県	NPO法人ねっとわーく福島潟	長野県	エコラボ クラブ	滋賀県	甲南高校　バイオとかがく系列
埼玉県	生活クラブ生協狭山支部	東京都	八王子市西部地区環境市民会議	新潟県	日本ボーイスカウト連盟　新潟第15団	長野県	長野市水環境研究サークル	滋賀県	甲南ボランティアグループ

5年以上の参加団体（今年度参加をした上記以外の団体）

滋賀県	甲賀女性風土づくりグループ	滋賀県	長浜南小学校	大阪府	NPO法人大阪府環境協会	広島県	芦田川環境マネジメントセンター	福岡県	遠賀川源流の森づくり推進会議
滋賀県	滋賀県企業庁水口浄水場	滋賀県	長浜市びわ北小学校	大阪府	清水1東町会	山口県	水の自遊人　しんすいせんたい　アカザ隊	福岡県	穂波川を愛する会
滋賀県	東近江環境保全ネットワーク	滋賀県	長浜市びわ南小学校	大阪府	豊中少路小学校おやじの会	徳島県	NPO法人　宮川内谷川を良くする会	福岡県	田川ふるさと川づくり交流会
滋賀県	八幡堀を守る会	滋賀県	長浜市立田根小学校	大阪府	アイラブ城北川実行委員会	徳島県	水土里ネット　芳崎	福岡県	遠賀川川下り大会実行委員
滋賀県	東近江水環境自治協議会	滋賀県	長浜市立杉野小学校	大阪府	パナソニックエコリレージャパン（事務局）	徳島県	吉野川ひがたの会と徳島市環境リーダー水グループ	福岡県	響みどりの会
滋賀県	環境フォーラム湖東	滋賀県	長浜市立神照小学校	兵庫県	日本武道玉谷道場スポーツ少年団　JEC	徳島県	特定非営利活動法人ウイ・ライク・リバー徳島	福岡県	なかまホタル・メダカの会
滋賀県	彦根市環境保全指導員連絡会議	滋賀県	長浜市立速水小学校	兵庫県	青垣いきものふれあいの里　友の会	徳島県	脇ライオンズクラブ	福岡県	北九州市立市丸小学校
滋賀県	大宮川を美しくする会	滋賀県	長浜市立伊香具小学校	兵庫県	水環境ネット出石	徳島県	あさん夢クラブ	福岡県	龍王・山・里・川の会
滋賀県	人と自然を守る会	滋賀県	余呉小学校	兵庫県	北はりま田園空間博物館	香川県	土器川生物研究会	佐賀県	（株）ミソタ
滋賀県	滋賀大学環境学習支援士の会	滋賀県	長浜市立七郷小学校	兵庫県	六方めだか公園	香川県	カワセミ	佐賀県	NPO法人技術交流フォーラム
滋賀県	大津市河川愛護団体連合	滋賀県	長浜市立塩津小学校	兵庫県	武庫川づくりと流域連携を進める会	愛媛県	NPO法人かわうそ復活プロジェクト	長崎県	本明川オビニオン懇談会
滋賀県	膳所南部の川を美しくする会	滋賀県	長浜市立朝日小学校	兵庫県	ユニトピアささやま	愛媛県	パナソニック ヘルスケア労働組合	長崎県	リルーグリーンクラブ2　JEC
滋賀県	天神川を美しくする会	滋賀県	長浜市立富永小学校	兵庫県	垂水すっきゃねん！クラブ	愛媛県	プロジェクト地球っ子ひろば	長崎県	湯江地区環境保全の会
滋賀県	長等青年育成協議会	滋賀県	合戸地区農村環境委員会　JEC	兵庫県	白陵中学校・高等学校　生物部	高知県	土佐山田町緑人会	長崎県	諫早市連合緑人会　高来地区緑人会
滋賀県	三田川をきれいにする会	滋賀県	淡海ネットワークセンター	奈良県	特定非営利活動法人「関西環境とインフラを考える会」	高知県	公益財団法人四万十川財団	熊本県	次世代のためにがんばろ会
滋賀県	逢坂の川を愛する会	滋賀県	ひろちゃん かいつぶり	和歌山県	日高川町水道協会	高知県	NPO法人YASU海の駅クラブ	熊本県	NPO法人 エコパートナーくまもと
滋賀県	藤ノ木川を美しくする会	京都府	木津川市こどもエコクラブ JEC	和歌山県	ほたるの会	高知県	鏡川下流の貝を育てる会	宮崎県	NPO法人大淀川流域ネットワーク
滋賀県	多羅川を愛する会	京都府	西京極児童館自然探検隊2004	鳥取県	米子水鳥公園友の会Jr.レンジャークラブ	高知県	横倉山自然の森博物館友の会	宮崎県	宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会
滋賀県	盛越川上流を美しくする会	大阪府	アクアフレンズ	鳥取県	どんぐりエコキッズ	高知県	田の口の環境を考える会	鹿児島県	おおすみ自然環境フォーラム
滋賀県	相模川を美しくする会	大阪府	ガールスカウト大阪府第21団	島根県	NPO法人アンダンテ21	福岡県	水の会	沖縄県	西表ヤマネコクラブ　JEC
滋賀県	びわ水環境	大阪府	おおさかバルコープ　大坂まちづくり連絡会	岡山県	児島湖流域エコウェブ	福岡県	宮若川づくり交流会	沖縄県	石垣島エコツーリズム協会
滋賀県	長浜市水生生物少年少女調査隊	大阪府	狭山池まつり実行委員会 水質改善部会	岡山県	さとしょうエコクラブ　JEC	福岡県	堀川再生の会・五平太	沖縄県	白保小学校
滋賀県	長浜市立七尾小学校	大阪府	大和川市民ネットワーク	岡山県	フジみどりの少年隊 JEC	福岡県	川を観る会	沖縄県	アンパルの自然を守る会
滋賀県	長浜北小学校	大阪府	CFKお魚の会	岡山県	倉敷医療生活協同組合　まちづくり委員会	福岡県	NPO法人遠賀川流域住民の会		

※個人の参加者は43名

Ⅶ 全国水環境マップ 実行委員会名簿

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

実行委員

氏　名	役　割	団　体　名	都道府県	TEL	E-mail
小倉　紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村　直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子　博	実行委員	NPO法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
沼澤　篤	実行委員	一般社団法人霞ケ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	kca@cg.mbn.or.jp
渡邉　勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe0133@t-net.ne.jp
大野　和広	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	shingashi@freeml.com
倉　宗司	実行委員	身近な川の一斉調査実行委員会	東京都	042-562-8863	sakkoganeikura@yahoo.co.jp
諏訪　祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	CBB00853@nifty.com
今村　和志	実行委員	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沖野外輝夫	実行委員	諏訪湖クラブ	長野県	0266-58-0490	okinosw@po2.lcv.ne.jp
金崎いよ子	実行委員	認定 NPO 法人びわこ豊穣の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyounosato@lake-biwa.net
山崎　久勝	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-7240-4675	
藤岡　博	実行委員	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
竹原　和夫	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1181-1090	okakawa2@yahoo.co.jp
生野　宜宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	090-7578-6172	ngckk745@ybb.ne.jp
杉尾　哲	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-78-2655	info@oyodo-river.org
小野　朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	070-5270-1847	ryukyuayuono@gmail.com

※委員は、平成28年10月1日現在

事務局

氏　名
高橋　克彦
菅谷　輝美
本間　君枝
佐山　公一

オブザーバー

氏　名
小堀　洋美
咸　泳植
武田　淳史
千葉　亮輔
加藤　裕之
川島　弘靖
吉野　英夫
岡内　完治
岡内俊太郎
伊藤　史朗
星野　順子

Ⅷ 身近な水環境を調べよう！

第１４回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の予定

2017年６月４日(日)を統一調査日として、第14回の全国一斉調査の実施を予定しています。
後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

小倉　紀雄　全国水環境マップ実行委員会　実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年６月５日の「環境の日」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ（URL　http://www.japan-mizumap.org/）や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ（http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html）で公表されています。

実　施　日	2017年６月４日（日）　世界環境デー（環境の日）の全国統一日を基本的に推奨。
測 定 項 目	気温、水温、ＣＯＤ、その他
測 定 方 法	調査マニュアル、調査キットに基づき測定（※1）
参加申込と締め切り	専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局（みずとみどり研究会）に、**2017年３月10日（金）**までにご送付下さい。 なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。 参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1　調査キットは、参加申込者に2017年５月頃に配布予定です。

問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会　事務局
みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021　東京都国分寺市南町2-1-28　飯塚ビル202
TEL/FAX:042-327-3169　E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。
当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年約6,000～7,000部配布しています。
詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。



全国一斉調査　お申し込み先
FAX：042-327-3169　E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第１４回　身近な水環境の全国一斉調査　参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ（http://www.japan-mizumap.org/）からもダウンロードできます。 身近な水 検索

2017年３月10日（金）までに必ずE-mailまたはＦＡＸでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり　　☐ 初めて

■ 参加グループ名
以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名（個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません）

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者　（個人参加の場合はご記入の必要はありません）

■ 連絡先（グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など）住所、電話、FAX、E-mail（特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可）

住　所：〒　　-

電　話　　FAX

E-mail

■ 調査予定地点名　河川名など　例）○○県　○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか
河川以外の水路・水辺（農業用水路、ため池等）で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒にご提出ください。（専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。）

☐ は　い　　☐ いいえ

■ 調査予定日　ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐6月４日に実施する　　☐ ６月４日に実施できない【その場合の予定　　月　　日】

■ 調査予定地点数　**水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。**

地　点（水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください）

■ 今後の連絡手段
今後のご連絡についてはEメールを中心に行わせていただきます。Eメールをお使いでない方は、ご希望の連絡手段を、以下にチェックして下さい。

☐ ＦＡＸ　　☐ 郵便物など　　☐ 電　話

■参加申し込みの確認はホームページ(http://www.japan-mizumap.org/)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。